

本誌は、筑波大学芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース、筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻芸術支援領域、博士後期課程芸術専攻芸術学領域における教育の一環として発刊するものです。

「特別寄稿」は、芸術支援の現場で活動する卒業生からの報告です。公益財団法人東京都歴史文化財団の浅野五月さんから、東京から新しい芸術文化を発信するトーキョーワンダーサイトの広報活動についてご寄稿いただきました。

「芸術支援フロンティア」と「つくばアートフィールド」は、学群の芸術支援コース専

門科目「芸術支援学IC」(授業担当:直江俊雄)の一環として、学生たちが取材した記事をまとめたものです。前者は現代社会における様々な芸術支援の様相を伝え、後者は筑波大学で今育ちつつあるアーティストを紹介し

ます。「研究ノート」では、学群4年生、博士前期課程・後期課程の大学院生がそれぞれの研究で取り組んでいるテーマを紹介します。

学生の取材・執筆に当たり、多くの皆様にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

岡崎昭夫 齊藤泰嘉 直江俊雄

1 特別寄稿

東京と世界を結び
広報を目指して

浅野 五月

03 ▶ 04

2 芸術支援フロンティア

05 「アート」のユニバーサルデザイン
学生チーム・アスバラガスのワークショップ
06 中島 靖雄

3 つくばアートフィールド

Artist × Writer

07 はじまりはスケッチから
線から生まれ、線をもって生きる車
08 A 清谷 勇亮 × W 岡野 恵未子

09 悩む、考える、まとめる
日本画を学ぶ大学生の考えること
10 A 河合 桃子 × W 小池 ちはる

11 ありえそうでありえない
12 A 石田 結香 × W 鈴木 芽衣

13 版画脳で人とつながる
14 A 萩原 沙織 × W 古谷 美也子

3 研究ノート

芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース4年

芸術による社会貢献
ホテルチェーンによるギャラリー運営を事例として
三石友貴 15

博士前期課程芸術専攻芸術支援領域1年

取手アートプロジェクトから見る郊外の現状と今後の展望
赤木 紗菜 16

文化施設が必要とする機能
美術館から受け継がれるものを中心に
村上 綾 17

自由ヴァルドルフ学校における造形教育の特質
下級学年のエポック授業に着目して
吉田 奈穂子 18

江戸東京博物館の教育普及活動
The Museum Educational Activity of Edo-Tokyo Museum
ボージョー・レーカ
Bózsó Réka 19

博士前期課程芸術専攻芸術支援領域2年

美術館におけるファッション
教育普及活動を中心に
川村 晃子 20

アートプロジェクトにおけるNPO法人の役割に関する考察
NPO法人向島学会を事例として
高橋 りほ 21

日仏芸術社による芸術支援活動
中川三千代 22

工芸のアーティスト・イン・レジデンス事業に関する考察
滋賀県と瀬戸市を事例にして
翠川 萌恵 23

博士後期課程芸術専攻芸術学領域1年

イスラム世界の子どもたちは美術教育から何を学ぶか
箕輪 佳奈恵 24

博士後期課程芸術専攻芸術学領域3年

妖怪文化の現代的活用に関する研究
地域住民を主体とする妖怪存在の再創造の事例から
市川 寛也 25
26